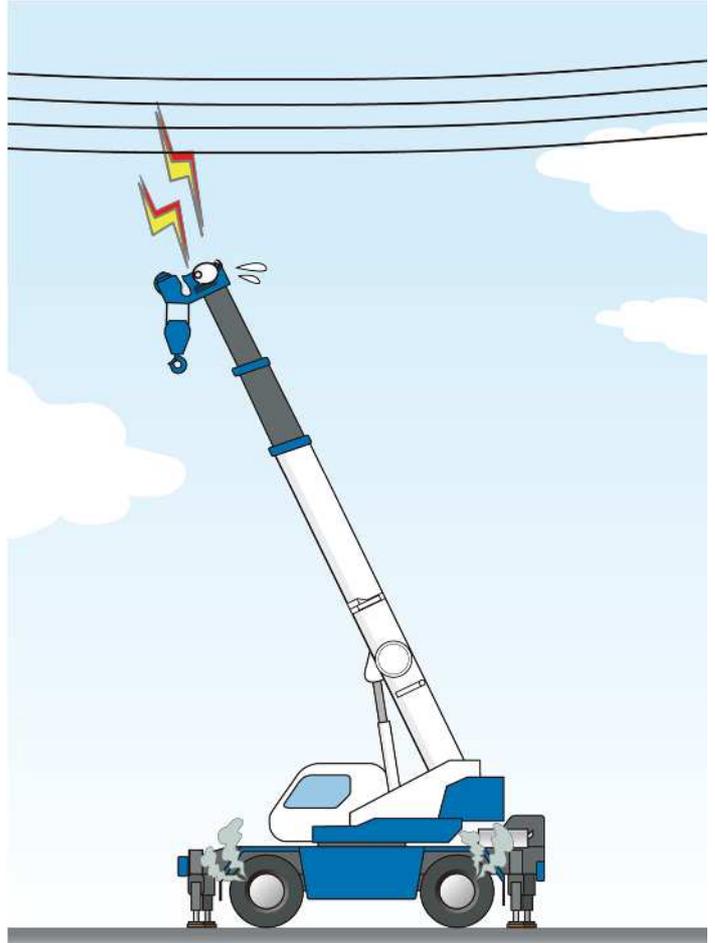


事故事例

高圧電線による感電事故

事故発生状況

高圧電線の下でクレーン作業中、ブーム先端と高圧電線の間で火花が発生した。ブームを縮小させて運転手が退避する時、タイヤから煙が出ており、しばらくするとタイヤが破裂した。



原因

高圧電線にブームを近づけ過ぎたことによる感電。

※高圧の電気がタイヤを通して地絡した。

対策

電線の近くで作業するときは、必ず隔離距離を確認する。

隔離距離(参考:電力会社の目標値)

電圧		隔離距離
低圧	100V,200V	2m
高圧	6,600V	
特別高圧	22,000V	3m
	66,000V	4m
	154,000V	5m
	187,000V	7m
	275,000V	10m
	500,000V	11m

電圧によっては電線に近づいただけで感電することがあります。やむを得ず電線の近くで作業を行うときは、あらかじめ電力会社と打ち合わせを十分に行い、安全上必要な対策を講じてください。

万一感電した場合、非常に危険な状態になっています。電線から十分に離す、送電を停止するなど、二次災害防止の措置を必ず行ってください。※詳細については取扱説明書を参照してください。